

戦評用紙

平成 25 年度

北河内地区 春季大会

25年 4月 28日 時刻10:00

女子【決勝リーグ】

東香里	64	$\left[\begin{array}{c} 13-5 \\ 12-10 \\ 17-7 \\ 22-8 \end{array} \right]$	30	庭窪
-----	----	---	----	----

第1PD	東香里のオールコートプレスに苦しみ、庭窪は得点ができない。庭窪2-1-2ゾーンに対してセンターへのボールの出し入れやフェイクを使って攻めるがリバウンドを庭窪がねばる。1PD終わりに庭窪⑦のフリースローをきっかけにリズムに乗り、連続5得点を取り1PD終了。
第2PD	庭窪は1PDの終わりの勢いのまま、よく足が動き素早いボール運びでスタート。東香里はゾーンディフェンスに対してミドルシュートが決まらず、互いにタイムアウトを取り仕切りなおす。きっかけは東香里⑤の投入でオフェンス・ディフェンス共にリズムを取り戻した。

第3PD	第3PDは再び東香里のオールコートに苦しみ得点が伸びない庭窪。東香里のシュートが入り始め、リバウンドからのパスアウトのカットから得点を重ね、東香里ペースの展開。
第4PD	第4PDも再び東香里のオールコートに対してボール運びに苦しみ、シュートまで機会が少なくなった庭窪。ねばり強かった庭窪のディフェンスに対して展開速度が上がった東香里が得点を重ね、最後までねばり強く続けた庭窪であったが東香里のディフェンスをくずれなかった。
(戦評／北条中：吉村)	

戦評用紙

平成 25 年度

北河内地区 春季大会

25年 4月 28日 時刻11:20

女子【決勝リーグ】

中木田	41	$\left[\begin{array}{l} 5-11 \\ 10-14 \\ 14-17 \\ 12-16 \end{array} \right]$	58	杉
-----	----	---	----	---

第1PD	中木田④⑤⑥⑦⑩、杉④⑦⑧⑫⑯でスタート。両チーム共にディフェンスはハーフマ スタート。杉⑯が果敢にドライブインのシュートを決め流れをつくる。それに対して、中木田はシュートチ 多くつくりうもなかなか決まらず苦しい始まりとなった。第1PDは11-5で杉リードで終了。
第2PD	中木田④⑤⑥⑦⑩、杉④⑦⑧⑪⑯でスタート。杉は24秒使い、パスラインでディフェ 穴をつくり確実にシュートを決めてくる。中木田も中盤ディフェンスを頑張り、ポストを使って攻めようとす なかなかパスが通らず思うようにいかない。第2PDは25-15杉リードのまま終了。
第3PD	中木田④⑤⑥⑦⑩、杉④⑦⑧⑫⑯でスタート。 ディフェンスハーフから杉がスクリーンを使って上手く攻め込み点を決めた。中盤中木田⑤がドライブで 中に入り込もうとがんばる。1on1からファウルをもらい得点を決めてから流れが中木田へ。杉もしつこ 狙うがファウルが続き、中木田もオフンスリバウンドしつこくっていった。
第4PD	中木田⑤⑥⑦⑩、杉⑤⑦⑧⑫⑯、中木田がディフェンスをオールコートに変えてのス 中木田はカットを狙うあまり手が出てファウルが続く。中木田⑤が流れを変えようと1on1を狙うがなか には結びつかない。その中、杉がパスを回し、センター陣がうまく得点につなげ杉が勝利した。一人一 ボールをつなげようとする思いが伝わるいい試合だった。
(戦評／四条中:松下)	

戦評用紙

平成 25 年度

北河内地区 春季大会

25年 4月 28日 時刻12:40

男子【決勝リーグ】

東香里 33 $\left[\begin{array}{c} 8-3 \\ 6-9 \\ 9-15 \\ 10-15 \end{array} \right]$ 42 枚方四

第1PD

東香里④⑤⑥⑦⑧、枚方四④⑥⑧⑨⑩でスタート。

両チーム共にディフェンスはハーフコートマンツースタート。両チーム共に激しいディフェンスに無得点

続く。枚方四⑥が高さうい活かし初得点を決めるが、東香里の激しいディフェンスに得点が伸びない。

東香里は⑥のペネトレイト、ミドルシュートが決まり、8-3で東香里がリード。

第2PD

東香里⑤⑥⑦⑧⑩、枚方四④⑥⑧⑨⑩でスタート。

両チーム共ハーフコートマンツースタート。東香里は⑦のペネトレイトや⑧のミドルシュートで得点を重ねる。

枚方四も⑥⑩の高さで得点を重ねリズムに乗る。東香里は⑥にダブルチームをしかけるが、高さを

抑えることが出来ない。第2PDは12-14で東香里2リードで終了。

第3PD

東香里④⑤⑥⑦⑧、枚方四④⑥⑧⑨⑩でスタート。ディフェンスは変わらず。

枚方四は徹底して⑥⑩のインサイド中心に攻撃し得点を重ねる。東香里も⑦のペネトレイトや

⑥のミドルシュートでくらくらいつくが、枚方四の高さの前に逆転を許す。第3PDは23-27で枚方四がリー

第4PD

東香里④⑤⑥⑧⑩、枚方四④⑥⑧⑨⑩でスタート。

枚方四は最終クォーターによく走り、⑧⑨がリズムよくシュートを決め、良い流れを継続する。東香里は

よく走り、激しいディフェンスの前に得点が伸びない。終盤プレスをかけ、追いつこうとするが出来ず、

高さ終始ディフェンスの集中力が切れなかった枚方四が42-33で勝利。

(戦評/住道中:廣瀬)

戦評用紙

平成 25 年度

北河内地区 春季大会

25年 4月 28日 時刻14:00

男子【決勝リーグ】

寝屋川三	38	$\left[\begin{array}{c} 11-10 \\ 9-3 \\ 6-7 \\ 12-8 \end{array} \right]$	28	門真二
------	----	---	----	-----

第1PD	寝三④⑤⑥⑦⑨、門二④⑤⑥⑦⑧ 両チームマンツーマンでスタート。
寝三⑤のジャンプシュート、門二は⑤のドライブインなど、スピーディな展開で始まった。	
寝三はDFリバウンドをきっちりとり、④のドライブインで得点を重ねる。	
残り2分で門二はゾーンに切り替え、11-10寝三リードで1PD終了。	
第2PD	寝三④⑤⑥⑦⑨、門二④⑤⑥⑦⑧ 両チームマンツーマンでスタート。
ドライブから⑤や⑩にオープンのパスが入り、次第に得点を重ねていく。	
20-13寝三リードで前半終了。	

第3PD	寝三④⑤⑥⑦⑨、門二④⑤⑥⑦⑧ 両チームマンツーマンでスタート。
門二はオフェンスリバウンドをとりながら、⑤⑦のジャンプシュートやゴール下で得点をつめる。	
寝三はディフェンスファウルが重み得点ペースが落ちるが、タイムアウト後から息を吹き返し、	
⑩のオフェンスリバウンドからのシュート、④のドライブで加点し、26-20で寝三リードで3PD終了。	
第4PD	トランジションの速い展開の中で、寝三はルーズボールをよく取り、⑥⑩が得点している。
門二は⑤の3Pシュート、⑦⑨のドライブで応戦する。残り二分、⑥のフェイダウェイ、3Pが決まり点差を	
はなす。門二⑥のジャンプシュートで食らいつくが、38-28で寝三が勝利した。	
両チーム共に最後までよく守り、走った好ゲームだった。	
(戦評／四条中：米山)	

戦評用紙

平成 25 年度

北河内地区 春季大会

25年 4月 29日 時刻10:15

女子 【決勝リーグ】

東香里	86	{	24- 4 17- 5 23- 6 22-16	}	31	中木田
-----	----	---	----------------------------------	---	----	-----

第1PD

東香里(白)⑤⑥⑦⑧⑨、中木田(黒)④⑤⑥⑦⑩スタート。

ディフェンス共にマンツーマン。まずは白がインターシプトから⑤が得点した。しかし、その後2回連続白がファールをし、⑦がフリースローを2本決め、2-2の同点となる。しかし、その後白のディフェンスに対して、黒はボールをうまく運べなくて、シュートまでもっていけない。その間白はインターセプトからの速攻やインサイドの1対1で得点を重ね、24-4で第1PD終了。

第2PD

第2PDに入って、黒④が3Pを決め、波に乗りたいところだが、その後も白のディフェンス

うまく崩せず波に乗れない。そんな中、白は⑥の3Pや⑦のインサイド、⑨のハイポストからの1対1で得点をする。後半メンバーチェンジするも勢いはそのまま41-9で第2PD終了。

第3PD

白⑤⑥⑦⑧⑨、黒④⑤⑥⑦⑩でスタート。白⑧、⑨のポストプレイ、⑦の3Pなどにより

白が優位でゲームが進みかけたが、黒も少しずつボールが運べるようになり、⑥⑦が連続して得点。しかし、その後も黒のシュートが決まらず、白はリバウンドからの速攻から点数を重ね、64-15で3PD終了。

第4PD

第4PDに入り、白がメンバーチェンジをしてからは黒は④⑤のドライブインからのシュート

を中心に攻め、差を縮めていく。それに対し、白も前からのディフェンスを頑張り、攻防する。その後もお互いに得点し、86-31でゲーム終了。

(戦評/門真はすはな中:田中正樹)

戦評用紙

平成 25 年度

北河内地区 春季大会

2013年 4月 29日 時刻10:15

女子 【決勝リーグ】

庭窪

39

{ 13-13
12-12
6-12
8-10 }

47

杉

第1PD

両チーム共ハーフコートマンツーマンでスタート。

序盤は杉が速攻や#7の1on1からの展開をうまく使いペースをつかむ。

対する庭窪も#7の1on1からの相手のファウルをうまく誘い、徐々にペースを掴んでいく。

お互いゆずらず、13-13で1Q終了。

第2PD

1on1を中心にオフェンスを組み立て着実に得点を重ねる杉に対し、庭窪は#7、#8を

中心にオフェンスリバウンドを支配し、得点を重ねる。試合は25-25と同点のまま後半へ。

第3PD

庭窪はハーフコート 1-3-1ゾーンディフェンスへ変化させ、1on1中心の杉の

オフェンスを止めにかかる。それに対し杉は3Pを2本決め、またアウトサイド中心に変化させた攻めから

#16の1on1も織り交ぜ、徐々に流れを掴み出す。杉12-6庭窪で4Qへ。

第4PD

庭窪はディフェンスをマンツーマンに戻し、ボールマンにプレッシャーをかける。

杉もまた1on1中心の攻めに戻し、第3Qの流れそのままに得点を重ねる。

庭窪も#9の3Pや#7のポストプレーで食らいつくが、第3Qの得点差を埋めれず、

杉47-39庭窪で試合終了。

(戦評/交野第三中:太田 光)

戦評用紙

平成 25 年度

北河内地区 春季大会

25年 4月29日 時刻11:35

男子 【決勝リーグ】

枚方四	76	{ 24-10 22- 6 17-11 13-12 }	39	門真二
-----	----	--	----	-----

第1PD

枚方四(白)④⑥⑧⑨⑩、門真二(黒)④⑤⑥⑦⑧

門真二は④が果敢にドライブインを行う。しかし、枚方四は⑥のリバウンドやブロックショットに阻まれる。

その間、枚方四は⑥のリバウンドや⑩のインサイドプレイで得点を重ねる。⑨⑩の速攻も成功し、勢いに乗る。門真二は⑤の3Pなどで反撃するも、24-10で1PD終了。

第2PD

枚方四(白)④⑥⑧⑨⑩、門真二(黒)④⑤⑥⑦⑩

枚方四はハイポストからローポストの連携を成功させつつ、インターセプトから速攻を決め、さらに勢いに乗る展開。門真二はディフェンスのプレッシャーに苦しみながらも⑤の3Pや3点プレイで攻撃する。

しかし、枚方四の勢いを抑えきれず、2PD終了。

第3PD

枚方四(白)④⑥⑧⑨⑩、門真二(黒)④⑤⑥⑦⑩

門真二は⑩が果敢にインサイドでプレーする。⑦のスリーポイントも決まり、残分3分くらいから⑨や⑦が連続して速攻を成功させ流れを引き寄せる。しかし残り1分を切るあたりから枚方四は速攻を再び成功させ始め、枚方四リードのまま3PD終了。

第4PD

枚方四(白)④⑤⑧⑨⑩、門真二(黒)④⑤⑥⑦⑩

門真二は開始早々インターセプトから速攻を成功させる。④⑦も果敢にスリーポイントを放つが、得点につながらず。ベースラインからのサインプレーや④ドライブイン⑥リバウンドシュートなどで猛追を見せる。

枚方四はトランジションやオフボールの動きから得点を重ね、76-39で試合終了。

(戦評/門真はすはな:島村)

戦評用紙

平成 25 年度

北河内地区 春季大会

2013年 4月 29日 時刻11:40

男子 【決勝リーグ】

東香里	68	{	10- 4 18- 4 18-14 22- 8	}	30	寝屋川三
-----	----	---	----------------------------------	---	----	------

第1PD

東香里(白)④⑤⑥⑦⑧, 寝屋川三(青)④⑤⑥⑦⑨でスタート。

ディフェンスは白、青、共にマンツーマン、白オールコートでスタート。青のファウル白④のフリースローで先制点。白⑦のドライブ、1対1で白が得点を重ねる。一方青は④の1対1、⑦のミドルシュートが連続で決まる。しかし、白のディフェンスを突破できず、差をつめれず10-4で終える。

第2PD

共に第1PDと同じメンバーでスタート。

開始後白⑧がシュートを決める。その後も、白⑧のミドル、白⑦、⑥の3Pが決まり、着実に点数を重ねていく。青は白のディフェンスを突破できず、また、ファウルも重ね、得点することができない。前半終わり28-8と白が差をつけてリード。

第3PD

両チーム共にオールコートディフェンスでスタート。

互いに早い展開でのゲームとなり、点の取り合いとなる。青は⑤の得点から⑩のミドル、⑨の3Pで差をつめるが、白④、⑧、⑭の速攻からの得点が決まり差をつめることができず、46-22で3PDが終わる。

第4PD

第3PDと同じく両者、オールコートディフェンスでスタート。第3PDと同じく共に

早い展開でのゲームとなり、点の取り合いとなる。白⑫の3P、白⑧、④の1対1で着実に白が対する青は、⑦、⑩の速攻で点を重ねるが、白のオールコートを最後まで突破できず、68-30で白が勝利した。

(戦評/交野第一:灰藤)

戦評用紙

平成 25 年度

北河内地区 春季大会

25年 4月 29日 時刻13:25

女子 【決勝リーグ】

中木田	43	{ 14-17 9-13 8-14 12-22 }	66	庭窪
-----	----	------------------------------------	----	----

第1PD

中木田(白)④⑤⑥⑦⑩、庭窪(黒)④⑤⑥⑦⑨スタート。

事実上の3位決定戦は両チーム、ハーフコートマンツーマンでスタートした。中木田は④と⑤の1対1を中心に、ファウルをもらったり、ディフェンスが寄ったところでパスをさばき、点を重ねた。それに対し庭窪は、寄りの速いディフェンスから、相手のすきをつき、速い攻撃で5人全員で点を重ねた。14対17で庭窪がリードして、第1PD終了。

第2PD

なんとかくらいつきたい中木田は、変わらず思い切りの良い1対1で点を狙うが、

なかなかシュートが決まらない。同じく庭窪もポストでのミスが続き、外からのシュートを積極的に狙うが、こちらもシュートが決まらない。両チーム共我慢の時間が続き、リバウンド対決となるが、庭窪が勝ち取り、23対30で庭窪リードで第2PD終了。

第3PD

引き離したい庭窪だが、中木田⑤のドライブをなかなか止められない。しかし、庭窪④

⑥⑦の1対1で点を重ねることに成功する。中木田はたあらずタイムアウトを取り、オールコートマンツーマンプレスで巻き返そうとするが、庭窪は落ち着いてボールを運び、プレスを突破する。中木田⑤はファウルを重ねてしまい、5つ目のファウルで退場となり、31対44で庭窪の流れで第3PD終了。

第4PD

このまま終わりたくない中木田は、⑤不在の中、④中心に⑦⑩のインサイドプレイ

⑥のスリーポイントで点を狙いにいく。対して庭窪は積極的に速攻を出してシュートを狙う。シュートが外れても中木田は⑤が抜けた穴が大きく、庭窪は⑤などのオフンスリバウンドや⑧のポストプレイで点を重ね、43対66で庭窪が勝利した。

戦評用紙

平成 25 年度

北河内地区 春季大会

2013年 4月 29日 時刻13:25 女子 【決勝リーグ】

杉	21	$\left[\begin{array}{l} 3-25 \\ 4-22 \\ 10-20 \\ 4-19 \end{array} \right]$	86	東香里
---	----	---	----	-----

第1PD	杉④⑦⑧⑫⑯、東香里⑤⑥⑦⑧⑨で、両チームオールコートマンツーマンでスタート。 杉は⑦、⑯のドリブルでボールを運ぶが、東香里のディフェンスを破りきれず、ドリブルがストップした後のパスを狙われ、0-7までリードを奪われる。東香里はパスカットからの速攻、⑤、⑨のミドルシュートやドライブで加点し、ゲームの主導権を手にした。杉も⑦のドライブで一矢報いるも、3-25で第1PD終了。
第2PD	杉⑤⑦⑪⑫⑯、東香里⑤⑥⑦⑨⑯でスタート。東香里のDFに対して杉はパッシングでのボール運びを狙う。しかし、フロントへ運んだ後も東香里のプレッシャーからスムーズにボール回しをさせてもらえない中、④のドライブ、⑪のリバウンドシュートで加点する。東香里は⑨のパスカットから⑤が速攻、⑨の3P、⑯のポストプレイなど多彩なOFを展開し、7-47で第2PD終了。
第3PD	杉④⑦⑧⑫⑯、東香里⑤⑥⑦⑧⑨。東香里が⑦のミドル、⑨の速攻で得点を重ね、後半も優位にゲームを展開する。杉はパッシングでフロントへボールを運ぶもののオーバータイムやトラベリングを犯してしまう。しかし、DFのズレをついて⑨がミドル、⑰がリバウンドを頑張り踏ん張った。しかしながら東香里は⑨の3Pをはじめ、バランスよくチームで加点し、17-67で第3PD終了。
第4PD	杉⑤⑦⑧⑫⑯、東香里④⑫⑭⑮⑯でスタート。杉は⑯のドリブル、⑦のミドルで攻め、何とか得点へと結びつける。東香里は⑫、⑯が連続でゴール下で得点するなど、攻めの手を緩めない。杉は最後まで諦めずプレイを続けたものの、東香里に及ばず21-86でゲーム終了となった。

戦評用紙

平成 25 年度

北河内地区 春季大会

25年 4月 29日 時刻14:45

男子 【決勝リーグ】

寝屋川三 27 $\left[\begin{array}{c} 6-16 \\ 6-23 \\ 2-7 \\ 13-13 \end{array} \right]$ 59 枚方四

第1PD

寝三④⑤⑥⑦⑨、枚四④⑥⑧⑨⑩スタート。両チームハーフコートマンツーマンで

スタート。序盤、枚四⑥を徹底マークするが、枚四④⑨のアウトサイドシュートでリードを奪う。

寝三は④中心のドライブインで反撃に出るが、速攻なので得点をする。

枚四ペースでゲームは進んでいき枚四10点差リードで第一Q終了。

第2PD

寝三④⑤⑥⑦⑨、枚四④⑤⑧⑨⑩でスタート。枚四はハーフコートマンツーマン。

寝三は2-3ゾーンDFに変えた。寝三④⑦のシュートで追いやげを見せるが、枚四⑩のリバウンドシュー

⑥のショートコーナーからのステップインで寝三のゾーンDFを攻略する。残り2分、寝三のタイムアウトで

12-28で枚四リード。献身的な寝三のDFは続くが、得点が入らず12-39枚四リードで第2Q終了。

第3PD

寝三④⑤⑥⑦⑨、枚四④⑥⑧⑨⑩でスタート。

枚四はハーフコートマンツーマン。寝三は2-2-1のゾーンプレスから2-3ゾーンDFでスタート。

寝三は④のアウトサイドシュートで得点を奪う。が、枚四のオフェンスの勢いは止まらず枚四⑨のドライブ

⑥と⑩のハイアンドローが機能してインサイドの得点が多くなった。オフェンスカに安定感がある枚四は1

とリードを広げ第3Q終了。

第4PD

寝三④⑤⑥⑦⑩、枚四④⑥⑧⑨⑩でスタート。両チームハーフコートマンツーマンでス

寝三④⑦⑩のドライブインや3Pの得点で最後まで諦めない姿勢を見せた。また枚四も試合終了まで

集中力を切らせず、選手同士で声を掛け合っていた所がオフェンスカの安定感を感じさせた。

終わってみれば27-59というスコアでゲームは終了した。

(戦評/錦中学校:井本)

戦評用紙

平成 25 年度

北河内地区 春季大会

2013年 4月 29日 時刻15:00 男子 【決勝リーグ】

門二	39	$\left[\begin{array}{l} 4-26 \\ 14-13 \\ 8-14 \\ 13-14 \end{array} \right]$	67	東香里
----	----	--	----	-----

第1PD

白の門二は④⑤⑥⑦⑧、黒の東香里は④⑤⑥⑦⑧でスタート。

東香里は⑥にシュートから2-2-1のゾーンディフェンスをかける。門二はボールが運べず、パスカットされたり、トラベリングなどのミスをして東香里に得点をゆるす。タイムアウトをとるがなかなか運べず。東香里はメンバーを変えながらも2-2-1を崩さず、4-26で1PD終了。

第2PD

門二は⑤⑦⑧⑨⑩、東香里は⑤⑩⑫⑬⑯でスタート。

東香里は2-2-1で守る。門二は⑤のドリブルやロングパスなどで2-2-1を崩しはじめると、得点をとりはじめる。また、東香里はファールを重ね、フリースローのチャンスを与える。さらにシュートまでいくがきまらず。門二はリバウンドからボールを運び、攻撃していく。18-39で前半を終える。

第3PD

門二は④⑤⑥⑦⑩、東香里は④⑤⑥⑦⑧でスタート。

東香里は2-2-1を崩さず、ボールを奪うと1対1などから得点を重ねる。門二は2-2-1に苦しみ、思うようにボールを運べない。東香里は6分頃からメンバーを変えていく。両チームとも攻撃するもなかなかきまらずターンオーバーが続く。26-53で3PDが終了。

第4PD

門二は④⑤⑦⑧⑩、東香里は⑫⑬⑭⑯⑰でスタート。東香里はやはり2-2-1で守る

門二は2-2-1に苦しみながらもボールを運ぶと、⑦や⑥のジャンプシュートがきまる。

東香里は少しメンバーを変えながらもパスカットや1対1などから得点していく。

そのままスタートメンバーに戻さずにリードを守りきり、39-67で勝利をおさめる。

(戦評／四條畷西中: 栗原)